



文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

「まで・までに」

次の文は外国人学習者が実際に作った文ですが、皆さんは読んでみてどこがおかしいと思いますか。「まで」と「までに」に注意して考えてください。

- 午後3時までレポートを提出してください。
- 何時までにこのテストは続くのかな。

(1) では「まで」、(2) では「までに」が使われていますが、正しくは(1)は「までに」、(2)は「まで」とする必要があります。

「まで」と「までに」は見たところよく似ていますが、意味用法が異なります。簡単なようで間違いやすいので、今回は「まで」と「までに」について考えたいと思います。

まず、問題です。次のストーリーを読んで、あなたならどう言うか考えてください。

問題1：〈あなたは学生です。〉

あなたは友達に本を貸してあげる約束をしました。でも、その本は4月1日に始まる新学期の授業で使うので、その前には返してほしいのです。では、本を友達に貸すとき、あなたはどのように言いますか。()の中から正しいものを選んでください。

あなた：この本は、3月31日(まで/までに/に)返してくださいね。

問題2：〈あなたは会社員です。〉

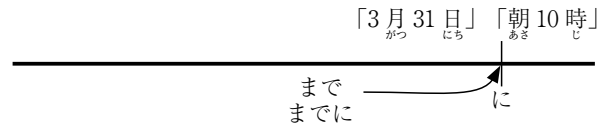
課長から新プロジェクトの企画書を出すように言われています。なかなか難しくまとめられません。でも、明日午後には会議があるので、午前中に課長に提出しなければなりません。

あなた：明日の朝は10時(まで/までに/に)課長に企画書を提出しよう。

できましたか。答えは、問題1、2とも「までに」です。そうですね。「に」も正しいですね。

「に」と「まで/までに」の違いは、「に」がその時点そのものを示すのに対し、「まで/までに」が「その時点(ここでは3月31日と朝10時)を限界として、その時点

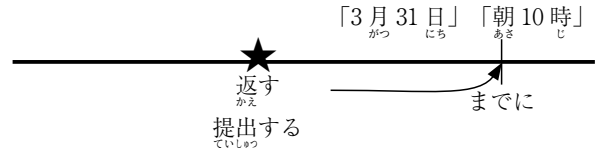
より前に(通常はその時点も含める)」を表します。図で示すと、次のようになります。



ですから、3月31日、また朝10時ちょうどの時点を目指すときは、「に」でいいことになります。

では、その時点を限界とする「まで」と「までに」はどう違うのでしょうか。

「まで」と「までに」を考えると、使われている動詞に注目してください。問題1では「返す」、2では「提出する」が使われていますね。「返す」「提出する」は通常は一回きりの、続いていない(その場で終了する)行為・動作です。図に示すと、次のようになります。★がその行為・動作の起きた時点です。



では、次の問題です。

問題3：鳥さんは彼女とデートの約束をしました。夕方5時にレストランJの前で会うことになりました。ところが、当日、時間になっても彼女は来ません。1時間待ちましたが、彼女は現れません。しかたがないので、鳥さんは家へ帰りました。そして、彼女にメールをしました。

鳥：今日どうして来なかったのですか。私は6時(まで/までに)待ったんですよ!

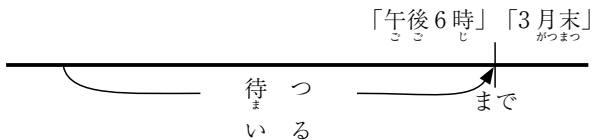


問題4：あなたは来年4月から新しい職場に変わる予定
です。友達にそのことを話してください。

あなた：来年3月末(まで/までに)今の会社にいて、
4月に新しい仕事場に移るつもりです。

できましたか。答えは、問題3、4とも「まで」です。

ここで使われている動詞は「待つ」と「いる」ですね。
これらの動詞の特徴は、ある一定時間(期間)その行為・
動作が続く、継続することを表します。



では、今まで出てきた動詞と、「まで/までに」について整理してみましょう。

までに：一回きり、継続しない行為・動作・出来事
を表す動詞(例：返す、提出する)と結び付く。
まで：一定時間(期間)継続する行為・動作・出来事
を表す動詞(例：待つ、いる)と結び付く。

このことを点(その時点で終わる、継続しない)と幅
(一定時間続く、継続する)で表すと、「までに」が点を、
「まで」が幅を表す動詞と結び付くと考えられます。

点を表す動詞には「返す」「提出する」のほかに、
「終わる」「結婚する」「出す」「決める」などがあります。
また、幅を表す動詞には、「待つ」「いる」のほかに、
「続ける」「働く」「休む」「生きる」などがあります。

- (3) 会議は遅くても4時(×まで/○までに)終わる
だろう。
- (4) 30歳(×まで/○までに)結婚したい。
- (5) 大学を卒業する(×まで/○までに)、就職先を決め
たい。
- (6) 来年の大会(○まで/×までに)テニスの練習を
続けるつもりだ。
- (7) この会社の人は夜中(○まで/×までに)働くのが
普通だ。
- (8) うちの祖母は百歳(○まで/×までに)生きた。

このように、点を表す動詞は「までに」と、幅を表す
動詞は「まで」と結び付きやすくなります。

ところが、動詞には次のように点と幅、両方を表す

ものがあります。同じ動詞がaでは点として、bでは
幅として使われています。

「寝る」

- (9) a. 子供は夜9時までに寝たほうがいい。
b. 今日は日曜日なので、朝11時まで寝ていた。

「行く」

- (10) a. 12月5日までに九州へ行くつもりだ。
b. 九州には2週間行っている予定だ。

「覚える」

- (11) a. このページの内容は明日のテストまでに覚え
なければならない。
b. さっきまで覚えていたのに、忘れてしまった。

「まで+幅(継続している)を表す動詞」「までに+
点(継続していない)を表す動詞」が原則ですが、幅か
点かが特定できない動詞の場合、また、話し手が幅か
点を明確に表したい場合は、次のようにすると、意味が
はっきりします。

1. 幅(継続している)を表すために、動詞に「ている」
を付ける。(書きことば的な「(し)続ける」を付ける
こともある。)
- (12) 毎晩11時まで起きている。
- (13) きのは夜中の1時まで勉強していた。
- (14) 彼は朝8時から11時まで食べ続けている。
2. 点(継続していない)を表すために、動詞に「(し)終わる」
「てしまう」「ておく」などを付ける。
- (15) 急ぐから、8時までに食べ終わってください。
- (16) 友達が来るまでに、勉強してしまおう。
- (17) 午前10時までに書類を書いておいてください。

また、動詞が否定になった場合は、動詞は点の性質を
弱め、幅(継続している)を表すようになります。「結婚
する」「提出する」は点を表す動詞ですが、(18)(19)で
は否定になって幅を表しています。

- (18) 私は仕事がおもしろいので、30歳(○まで/×までに)
結婚しない。
- (19) 論文は締め切りぎりぎり(○まで/×までに)提出しない
つもりだ。

参考文献：

庵功雄他(2000)『初級を教える人のための日本語文法
ハンドブック』スリーエーネットワーク

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。